[illegible]民敵撃滅へ

[illegible]二時より清水社會館に[illegible]集[illegible]を協議された、出席者[illegible]、中村庶務、大木警察課[illegible]白井高等主任、甲斐高等部長[illegible]高等特務、皇民奉公會役[illegible]會の許、[illegible]支會長より[illegible]各街庄代表等列席、中村庶務[illegible]行進[illegible]の話題に對する[illegible]說明した、次に大甲高種[illegible]太郎[illegible]外埔賴朱[illegible]氏、大安[illegible]田[illegible][illegible]氏、[illegible]安[illegible]先正氏、[illegible]州氏、清水[illegible]氏、[illegible]水氏、大肚[illegible]氏八街庄代表の烈々なる決意を吐露し、一日も早く實現を見る樣促進方を表明した、尚申合せ事項は

一、大東亞戰爭第二周年を迎へるに當り吾等大甲郡民及關係者一同は愈々[illegible]烈の決意に燃ゆる誠忠無比の皇軍將兵勇戰奮闘に應へ更に一段決意を固めて至誠奉公、戰力增強に向つて邁進[illegible]防空[illegible]機上軍の爲も獻納せられて居る簡易飛行場獻納運動を翼賛する目的で此の資金を募集することとし

二、募集[illegible]金額十萬圓以上、募集期間昭和十九年一月二十日まで

三、本日の出席者は率先寄附すると共に街庄に於ける寄附金募集を勸進し目的達成に努むるものとす

四、各街庄に於ては更に本日の出席者及所在街庄に於ける有力者を呼合し趣旨の徹底を圖り速急に募集方法定め實行に着手すること

五、右の外獻納方法は知事及郡支會長に一任する事となり四時頃閉會した

元寇の國難を偲び
凜たり看護助手志願の決意

【新竹】[illegible]看護助手を[illegible]座談會で大いに感激した一本島女性の看護助手（採用[illegible]美談）話の主は新竹州桃園郡大園庄竹圍三塊厝六番地の林[illegible]さん（二二）本年二月まで竹圍國民學校に於て助教を勤めてゐた[illegible]本島女性であるが去る十五日同地出身陸軍看護助手[illegible]さん外三名との座談會席上で彼女等から現地の[illegible]奮闘談をきいてもつとしてゐられず、早速左の如き書面を添へ[illegible]第二[illegible]へて同部隊[illegible]に採用方歎願したことが二十八日州當局に齎され人々を感激させてゐる

「[illegible]かば水漬く屍、山ゆかば草むす屍かへりみはせじ」私共は日本[illegible]であります。世界人類の平和の爲大東亞戰の赫々たる大戰果に[illegible]よろこんでゐるのでは申譯ありません、この世界から米英を消殺するまでは一分一秒の油斷も出來ない時です、[illegible]五十萬といふ大多數の女子を動員してゐるときいてゐるが私達日本女性も決してさけない覺悟であります、元寇の時亂を捧つて勇しく戰つた壹岐對馬の婦人、會津、若松、熊本籠城の城内の士氣を鼓舞し遂に壯烈な戰死をとげた[illegible]な婦人の姿こそ、私達の以て範とすべきものです、こんど看護助手の派遣の時は是非御採用下さる樣今から御願ひ致します

青少年訓練費追加
高雄市臨時市會で決定

【高雄電話】徴兵制に[illegible]する青少年訓練費追加豫算と市參事會員選擧を[illegible]とする第三十一回高雄市臨時市會は三十日午後一時より市會議室に於て中松市長始め各參與並に二十七名の議員參[illegible]の下に開催された、議長の挨拶に次ぎ直に議案第一號の市歳入出追加豫算三萬五千三百十七圓、第二號特別會計水道費追加豫算一萬八千圓[illegible]案を一括上程各參與より夫々説明あつて審案に入り何れも滿場一致で可決を見續いて參事會員の選擧に就ては大坪議員の發議により議長に推薦を一任する事に可決し議長より田司進一郎、眞砂由次郎、田村清、今井佐一郎、手島千代志、中村秀の六氏が推薦指命して決定下の市會に相應しく僅三十分で同二時終了した

宜蘭皇奉講演會

【宜蘭】皇奉宜蘭市支會並に郡支會主催の講演會は二十九日午前十時から市公會堂に開催されたが會場には官民代表並に日本精神倶樂部男女青年[illegible]五百餘名、[illegible]國民儀禮に次で清水助役主催側を代表して挨拶をなし次いで山本事務[illegible]「勝利への道」と題して戰力を增強することの急務を說くこと一時間半に亘つて熱辯を揮つて講演を終了し去つて十一時四十分終了したが少憩の後同所に於て支會關役職員並に參與、奉公委員協會役員等會食の後午後[illegible]時四十[illegible]

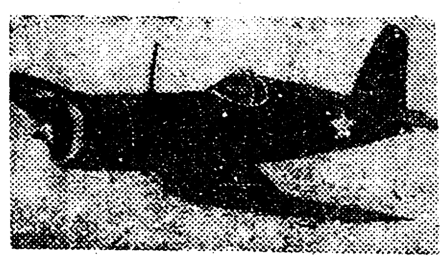
臺南中堅女子
青年合宿訓練

【臺南】臺南州では決戰下に於ける女子青年の任務が愈々重要視されて來たのに鑑み來る一月十日より二十四日まで十五日間臺南州國民道場に州下中堅女子青年百名を招集して合宿訓練を實施するが女子青年として長期に亘る合宿訓練は今回が始めてで期間中は勤勞に精神の昂揚戰時防空と救急處置並に大和婦道の錬成鍛成を積むが州では第一回の錬成に引續いて第二、第三回の青年女子隊の訓練を行ひ徹底的錬成に依る成果の實務を期してゐる

土に親しみ土に死ぬ
女子農業戰士の體驗談

【羅東】羅東郡では決戰下に於ける食糧增產を圖るため農村婦女子の農業指導員として羅東街から五十名の女子青年團員を選拔し北投に在る臺北州農會[illegible]の農民訓練所に入所せしめ五十日間の訓練を終て今度歸郡した女子の農業戰士を迎へて二十八日午前十時から同郡役所會議室で座談會を開催した大串郡守を始め小池勸業課長、田村農務主任および武生街長等列席懇談に入つたがさすが訓練所の[illegible]

[illegible]の精兵の心を心とし[illegible]民は土に親しみ土に死ぬ」陳氏[illegible]さんは「農業[illegible]に勵む」陳氏[illegible]さんは[illegible]滿さんは「農業戰士として率先食糧增產に挺身する」および陳氏金鳳さんは「共同生活の樂しみ」との必勝信念に燃ゆる銃後女性の決意を語り最後に之等女子團員を以て「[illegible]會」を組織し農に訓練所で體得した尊き體驗を生かして決戰下に於ける食糧增產に挺身する事を誓つて午後一時半盛況裡に終了散會した



軍事知識
航空機戰と其將來（上）
豫想され得る發達限度

將來の飛行機發達の方向はどうか要約すれば速度の增大化、高高度飛行化、大型化、安定性と運動性の向上化、使用[illegible]の[illegible]大化、多量生產化などが擧げられる、速度の增大化については今次大戰に現はれた例を上げれば戰鬪機七〇〇粁程度[illegible]機五五〇粁が常識であり

次期大量 生產機は戰鬪機七六〇粁、爆撃機五六〇〜七〇〇粁に上らんとしてゐるこのやうな速度向上の手段としては抵抗の減少が第一に擧げられそのため飛行機は自分の身を削り骨を削るやうな思ひをして空氣抵抗の減少を圖つて來たのであるが更に高速化するにはここに新しい障碍即ち空の壓縮性の問題が出現して來た

壓縮性の 影響は飛行速度が音速に接近したときに起るものでこのため音速が音速の約半分に即ち時速六〇〇粁附に達した場合機體の一部は高速に達し局部的に壓縮性の問題が起り所謂衝撃失速といふ現象により空氣抵抗が增大し揚力も減少し時速が八〇〇粁一、〇〇〇粁と增大するに伴ひこの影響は增大して來るため

機體の形 狀に於て從來の流線型の概念を變へずに接近して來た、[illegible]に形狀の問題許りでなく壓縮性の影響が決定的打撃を與へるのは推進機構で現在の如きプロペラ推進機では時速九〇〇粁乃至一〇〇〇粁以上の飛行は不可能になるものと解せられそれ以上の高速に對しては所謂ロケット推進或はこれに類似する方法の採用が考慮せられ[illegible]用機の或る種のものに對してはその必要上より好むと好まざるとに拘はらず

音速問題 の解決が絶對必要であつて列國とも已にその前提とも解し得る法式を採用または試作してゐるやうである

【寫眞】はボートシコルスキー「コルセア」F4U・2—世界最高速と稱して現れたものの併し我が荒鷲にあつてはかなはぬ最高速度六〇〇粁

高雄皇奉の新陣容
幹部異動發令逞しく發足

【高雄】皇奉高雄州支部では機構改革に伴つて二十八日左の如く幹部の異動を發令した

國民動員部長を委囑す　島津　治郎
國民動員部長　島津　治郎
國民動員部生產班長事務取扱を命す
總務部長　那須　重德
戰時生活部長兼務を委囑す
主事　青柳　克己
參事を委囑す
調務班長を命す　日高　茂
參事を委囑す
戰時生活部[illegible]班長を命す
主事　杉村泰一郎
參事を委囑す
訓練部青少年班長を命す
主事　下村八五郎

走らぬ無軌道電車
高雄での創設計畫中止

【高雄電話】高雄に無軌道電車走るの整は大高雄建設を目ざす市民を歡喜させたが同會社建設の任に當つてゐた杉山元之助氏より種々の事情により一時之を中止する旨の手紙が中松市長宛に來たので同市長は三十日の臨時市會で各議員に此旨を傳へた

[illegible]士の休養所及び[illegible]所建設が計[illegible]せられ着々準備を進めてゐたが決戰下資材[illegible]で新築する事は困難であるので既設建物を利用する事となり最適所として弘[illegible]に白矢が立てられ過般來交渉を進めた所この程やうやく話が纏まりいよいよ弘[illegible]は十二月末日を以て[illegible]一月一日より軍人[illegible]所及下士官休憩所として裝[illegible]がとり[illegible]へられる事となつた

[illegible]に於て名譽の[illegible]義君並に[illegible]君の街葬並に[illegible]執行、[illegible]代理[illegible]部長[illegible]代理古市理事官其の他官公[illegible]、會社、青年團員、[illegible]多數參列夫々弔詞奉讀、玉串奉奠あつて同三時半終了した

蓬來うどん
屑米と澱粉の混合
代用食が出來ました

【豐原】代用食たる澱粉ウドン大量製造[illegible]豐原郡豐原[illegible]番地中原[illegible]會黃欽山氏は平素より食糧增產に挺身して來たが今般代用食[illegible]に鑑み苦心研究の結果今迄[illegible]物としてゐた屑米、[illegible]粉其他を加工し製造した結果良質な澱粉ウドン製造に見事成功し[illegible]內自給自足を目ざし同工場を擴張中であるが[illegible]するところ多大なるものと期待されてゐる

羅東で皇民體操會

【羅東】皇奉羅東郡支會では輝く昭和十九年の新春を迎へるを機に健民強兵運動を力強く展開せしめるため一月一日から每日午前六時半を期し各部落に於て徴兵適齢[illegible]年を中心に十歳以上青少年も參加し運動場學校その他適當な場所に「皇民體操會」を開催し明朗なる部落建設に乘出す事になつたが體操會の順序は次の通り決定した

1開會の辭、2神宮遙拜、3宮城遙拜、4祈念、5「海行かば」の歌齊唱、6誓ち拔く誓の齊唱、7皇民體操實施、8退散

志願兵後期入所者
の團體生活訓練

【臺中】皇奉臺中州支部並に臺中州兵事防空課では昭和十八年度陸軍兵特別志願兵訓練所後期入所者に對し規律統制ある團體生活に習熟せしむる爲め一月五日より五日間に亘り大肚山青年道場に合宿の上錬[illegible]

千六十七棟の堆肥舍
年內完成意氣込む臺東

【臺東】增產の要諦は一も堆肥、二も堆肥であるといふ決定的實證に基き臺東郡では總力に並行して堆肥大造成の自給肥料確保に懸命の努力が注がれてゐるが來年度一期作の植付迄に要する堆肥は甲當り[illegible]であつて之に要する堆肥は[illegible]二萬[illegible]所として一億三千六百餘萬斤であるのでこの全量を確保する爲には最早農家のみに任せず非農家も一體的協力を傾けて目的を達成せねばならず、又一方[illegible]局では[illegible]計畫中の優良堆肥舍改用の千六十七棟の堆肥舍建設を是が非でも十二月下に完成すべく之又林[illegible]から建設まで全部を部落民の共同作業に依り[illegible]夜兼行で[illegible]がれて居り、今や二期作の收穫を終へて息つく間もなく次の一期作に備へる堆肥造成は決戰第三年目も增產で勝拔かうと全臺民の逞しい勤勞動員を以て燃然に推進されてゐる

臺中州民感激
の十八萬圓

【臺中電話】百四十萬州民が徴兵制施行に對し感謝と感激の誠を捧げようと過般來皇奉臺中州支部で州民に呼びかけ募集中の飛行機獻納獻金は二十七日募集を打ち切つたが大甲部の二萬八千九十七圓三十一錢を筆頭に計十八萬三千六百餘圓に達した

[illegible]

徴兵制に應へて
皇民の資格、國語の習得（下）

[illegible]國語を使はない方が增したと云ふ事へを待つ樣になるのでありまして結局國語は上達しないのであります。そこで間違つても良いからどしどし話して使つた方が國語が[illegible]と信ずる次第[illegible]國語は國民[illegible]來るのであります。若し國語が不十分なるが爲めに思ふ存分働き得なかつたならば、聖慮に副ひ奉り得ない不忠の臣となり、下は不孝の徒となるのであります。希くは國語解者の皆様[illegible]を止めて只今この時から國語の常用を誓ふではありませんか

[illegible]の點について申[illegible]少年各位は特に此點に留意し生理衛生を重んじ、身體の錬成に努め強健なる體軀の保持者たる心掛が必要であります。從來少年中比較的疾病者が多いとの事であります之も自ら不健全なる生活を避け不健全的な行動を愼み常に身體を清潔にし、若し不幸にして病氣に罹つた時は速かに醫師の診斷を受けるとか又は適當な治療を加へ、早[illegible]國民[illegible]たらん[illegible]

[illegible]も努力の如何にも依りませう、作業中途に挫折し、錬成半にして屁古垂れるのが往々あるさうで御座います、同じ訓練の持主が他人がやれるのに自分がやれない答はありません、叱かられて始めて出來得る勤務なら心の持樣一つでは叱かられずとも出來得る答であります、今一歩だ同に[illegible]、最後の五分間だ、斃れて後已むといふ樣な精健なる氣魄で敢闘精神を養成し來るべき徴兵に備へるやう一般に精神の訓練に倍一層の研鑽、訓練、切瑳琢磨あらん事を特に青少年各位に切望して止まぬ次第であります現代の若人は實に幸福なる時代に生に逢はせたものであります、歷史の如何なる青年も遇り逢ふ事の出來ない此の時代に生れ合せた幸福は何物にも替へ難いものであります

[illegible]人が勇躍して[illegible]に赴く[illegible]は限りなく美しくも美しいもので御座います此千載一遇の生甲斐ある時代に生れ合せた青年の何んと幸福なことでせう「艱難は汝を玉にす」泰平の世には偉人は出ません、明治維新の際は若人の活躍の天地でありました、そして多くの偉人を生んだのであります、今大東亞戰爭に直面して明日の偉人を我々は期待してゐるのであります、大業を抱く青少年にとつて

忍苦鍛錬 こそは偉人となる過程を踏むものであります、進んで此の難局を擔ふ自信が出來てこそ國家的大事業は若人の力に依つて成し遂げられるのであります日本の若人は大東亞共榮圈を建設し遂げられた全亞細亞の同胞を解放し人類文化に貢獻すると言ふ崇高な目標をはつきりと與へられてゐることを自覺しなければなりま[illegible]

適格年齡 [illegible]お誓ひ致し[illegible]兵制度[illegible]も國民兵として徴召に應じ得る資格を付與せられ此の恩典を廣く均霑せしめられん事を重ねて強調する次第で御座います、兵役をよく義務と申しますが權利義務と相對的に考へることは之は米英的な考へでありまして崇高なる兵役は我が國に於ては義務と言ふ生やさしいものではありません、國民皆兵の我が大日本帝國に於て國民の凡べてが兵役に服することが至上命令であり責務であり又最大の榮譽であると私は確信致しまして身命を君國に捧げ盡忠の誠を盡さねばならないことを深く深く痛感する次第であります、それで此の崇高なる日本國民として輝く軍の出來ない國民の施行が來らん事を千秋の[illegible]であります

[illegible]くものでありまして實に申譯な[illegible]次第で御座います、吾等は飽迄も有難き御制度なる事を銘記し思ひを此所に致しまして如何にせば此制度に副ひ奉ることが出來るかを專念し一身一家を顧みず粉骨碎身唯一途に君の爲め、國の爲め、全身全靈を捧げて御奉公の誠を竭し廣大無邊の皇恩に報い奉ることを更に覺悟を新にせねばならんと感ずる次第で御座います、大東亞戰爭は益々[illegible]を極め國家の隆替を決する重大時局に突入したのであります殊に敵米英は[illegible]戰に於ける[illegible]を[illegible]せんと豐富なる資源を恃みて執拗に反撃を續けてゐるのであります西南太平洋に於ける皇軍の戰果は全世界を震駭せしめてゐるのでありますが亦我が力にも幾多の尊い犠牲を出してゐるのでございます、吾々は此の[illegible]國の[illegible]と[illegible]つた勇士の英靈に[illegible]

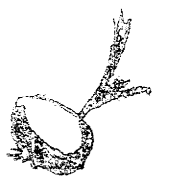
ラジオ

第一放送

◇七・〇〇　時報、大政[illegible]（東京帝國大學教授文學博士宮地直一）
◇九・〇〇　時報
◇〇・〇〇　時報
◇〇・二〇　浪花節…大石[illegible]別れ
◇六・〇〇　少國民の時間、シンブン、[illegible]…輝く大東亞
◇六・二五　番組豫告（各局）
◇六・三〇　獨唱、合唱と管絃樂　戰意の頌
◇七・〇〇　時報、報道、家庭における[illegible]について[illegible]工局

第二放送

◇六・〇〇　時報（東京）[illegible]部隊、放送陣[illegible]
◇九・〇〇　時報[illegible]
◇六・二〇　家庭學習の時間…對少國民の時間、シンブン　話劇『よい子の年越』
◇六・五〇　みんなでうたひませう　一月一日（文部省唱歌）
◇七・〇〇　時報（東京）
◇七・四〇　朝鮮・日本の夜（九）
◇八・〇〇　[illegible]
◇八・四〇　[illegible]家の時間…[illegible]を語る…[illegible]
◇九・〇〇　[illegible]一、[illegible]太平洋、他



椰子（131）

海野十三作
村上松次郎繪

赤道倶樂部（五）

帆村は、廊下の角で、キヨ子に分れるとき、波岡子への傳言を頼んだ。ちよつと頼みたいことがあるから、手がすいたら來てくれるやうにと。

キヨ子は、あら波岡子さんぢやなければいけないのですか、あたしは[illegible]になつたのですかと冗談をいひながら帳場の方へいつてしまつた。

（どうも帆村といふところは、[illegible]とちがひ年齢以上に女の子がませてるところだ）

と帆村は一つの結論を得た。しかし波岡子はどうであらうか。けれど波岡子は、なかなか帆村の部屋へやつてこなかつた。

[illegible]帆村は[illegible]それを大して苦にしてゐないやうに見えた。むしろこの土地についたときとは違ひたいへん浮々してゐるやうな調子が見えた。彼の部屋の外にまで、めづらしく帆村の吹く口笛が聞えたほどである。

三十分ほどたつて、帆村の部屋を叩く者があつた。

入つて來たのは婦人だつた。[illegible]。波岡子ではなかつた。さつきのキヨ子だつた。

「やあ、君かい」

「あら、失禮ですわね。やあ君かいとは……」

「いつまでたつても素[illegible]……いや川田波岡子さんが來てくれないのでね」

「波岡子のお使ひに、あたし[illegible]たのよ。波岡子さんが、[illegible]

[illegible]ですわ」

「なに、御用の大事を、君に聞いてきてくれつて。さうか。すつかり僕は嫌はれてしまつた樣だな」

「どうもお顔の[illegible]を見たい[illegible]うでございますわね」

[illegible]

「[illegible]」

帆村は[illegible]してゐる[illegible]ない。しばらく小首をかしげてゐたが[illegible]

「[illegible]紙をかくから、[illegible]子君へ持つていつてくれ」

「まあ、そんな[illegible]使ひつてあるで[illegible]

[illegible]

「お金[illegible]何でも片がつくと思つていつつ[illegible]るから」

[illegible]には、たつぷ[illegible]

[illegible]ましたわ」

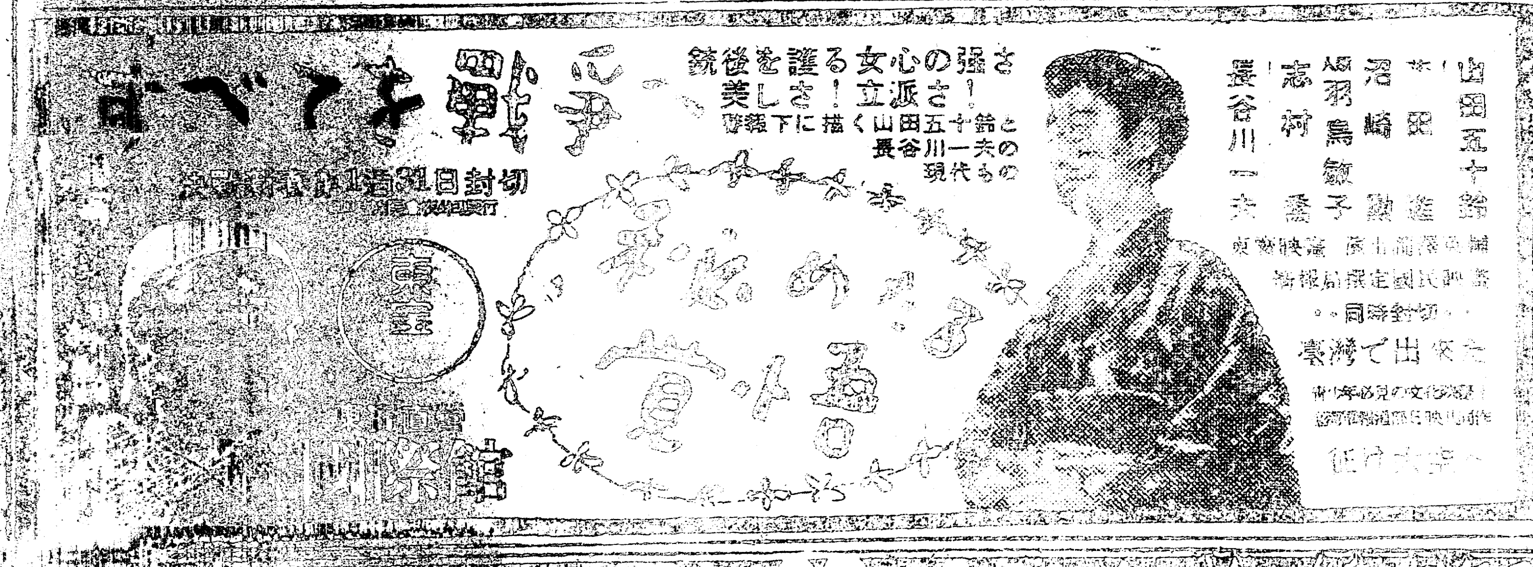
「何[illegible]のかね」

[illegible]の。お[illegible]の王子さまが、金の馬に乘つて、かくれたるお姫さまを迎へにおいでになる話が大好きなのでございますわ」

「おいおい。これが詩といふものかね」

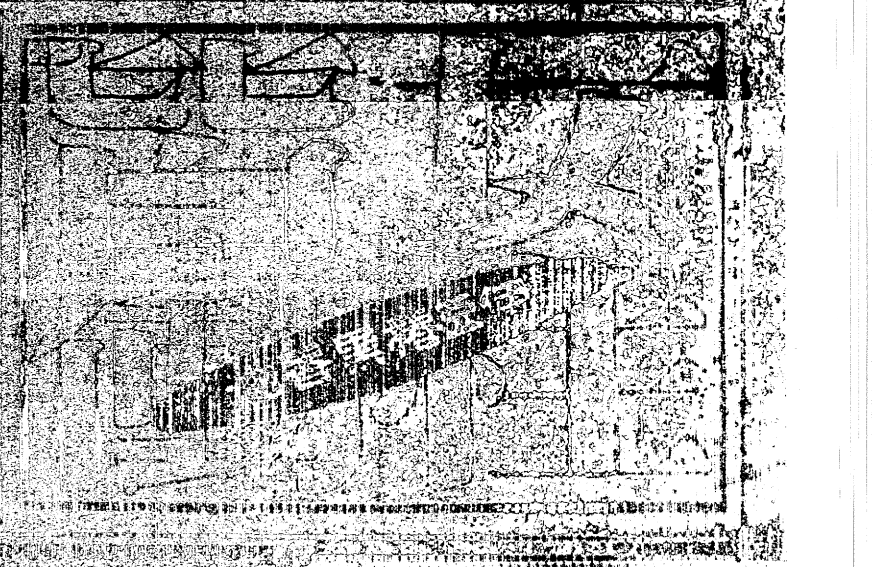
「ところが、實際は、いつまでたつても王子さまがお出でにならないものですから、そのかくれたるお姫さまは病氣におなりになつて、[illegible]しい詩をお作りになるのですわ」

「さうかね。よしよし。その話はいづれゆつくり聞いて[illegible]て。これを持つて[illegible]

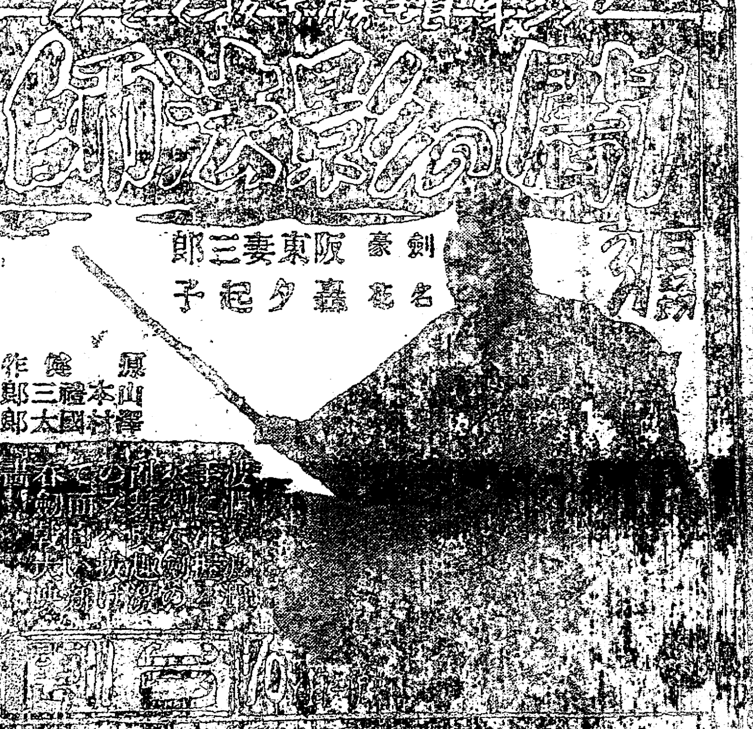


すべてを戰ひ[illegible]
銃後を護る女心の強さ
美しさ！立派さ！
警報下に描く山田五十鈴と
長谷川一夫の
現代もの
山田五十鈴
[illegible]田[illegible]
沼崎勲
[illegible]羽鳥敏子
志村喬
長谷川一夫
東寶映畫　[illegible]
情報局選定國民映畫
・・同時封切・・
臺灣で出來た
青少年必見の文化映畫
[illegible]
1月31日封切
東寶
[illegible]國際館

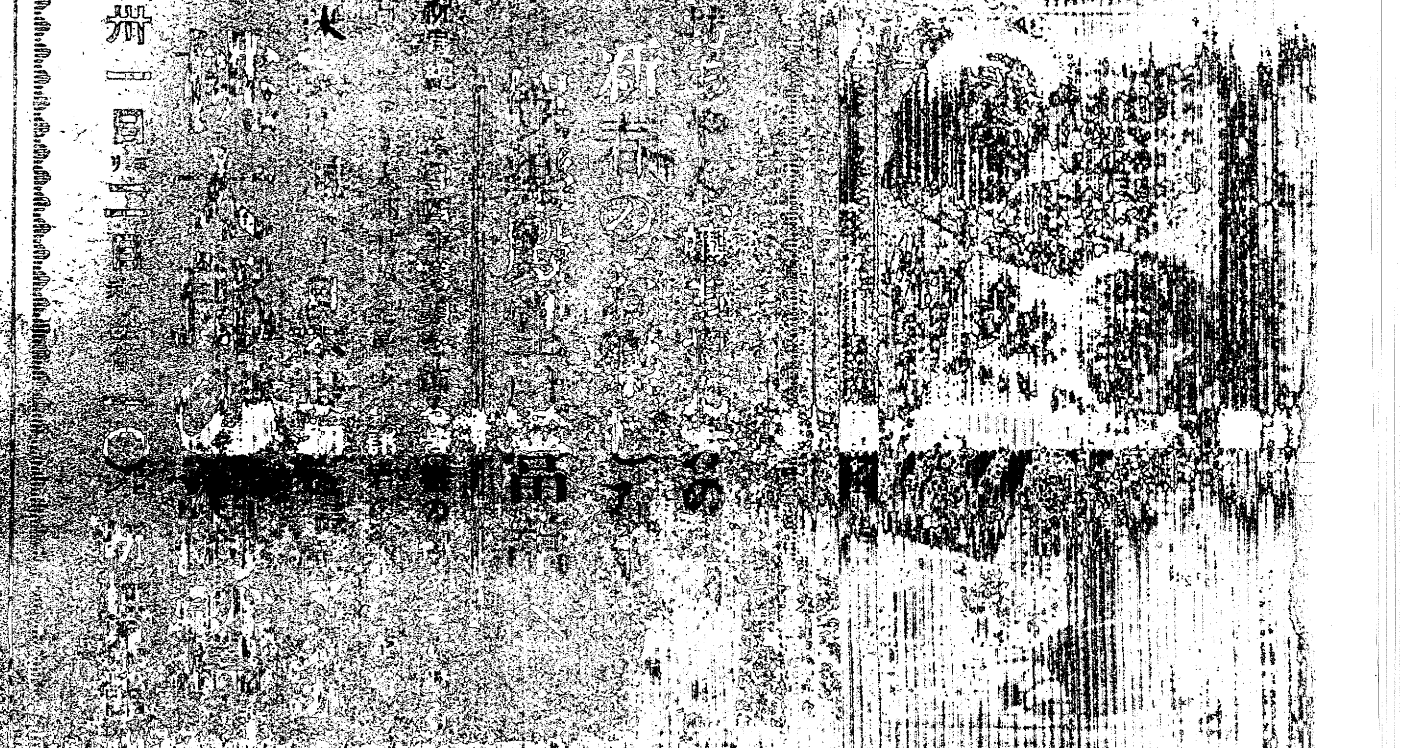
獨潜水艦と敵英
巡洋艦の一騎打！
潜水艦西へ！
今次大戰地中海に展開された壯絶無比なる獨逸魂を描寫する海戰映畫！
獨ウファ超大作
80分
U-BOOTE WESTWÄRTS
指導後援
獨逸海軍省潜水艦司令部



脚色　伊丹萬作
演出　稲垣浩
待望久し日本映畫界最高の[illegible]



[illegible]の鬪
劍豪　阪東妻三郎
名花　嘉夕紀子
忠魂に應へる途は
働くのだ！貯めるのだ！
[illegible]



卅一日[illegible]